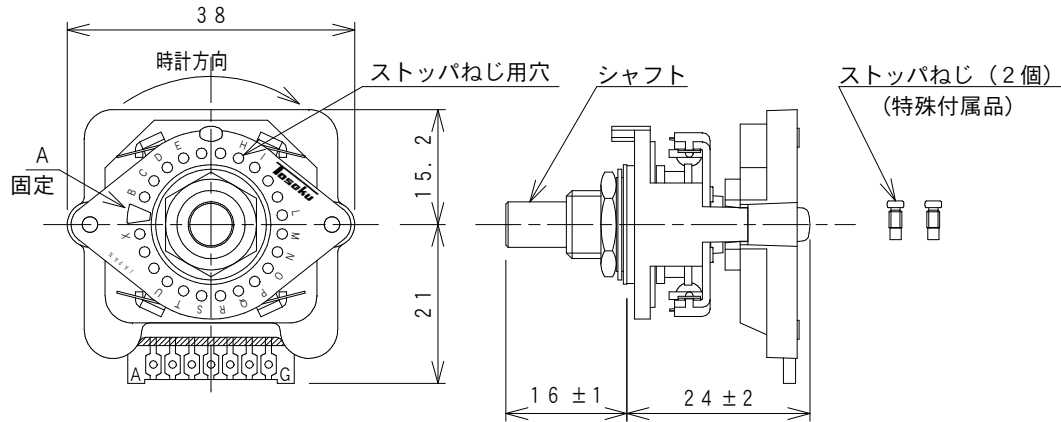


コードスイッチ外形例 (DPP01 011N16R)



設定表 (30° 用)

設定値		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ストップねじ位置	スタート側	A	C	E	G	I	K	M	O	Q	S	U	-
	エンド側	-	E	G	I	K	M	O	Q	S	U	W	A

・動作範囲変更例：動作範囲を1～5とする場合

下記の手順に従いCとMの位置にストップねじを入れてください。

エンド側動作範囲変更手順

エンド側の動作範囲を変更の際は、**シャフトを反時計方向に一杯まで回転させた状態**で上記設定表を参照の上、スイッチのアルファベットE～Wのストップねじ用穴にストップねじを入れて変更して下さい。

※工場出荷時は反時計方向に一杯まで回転させた状態です。

スタート側動作範囲変更手順

スタート側の動作範囲を変更の際は、**シャフトを時計方向に一杯まで回転させた状態**で上記設定表を参照の上、スイッチのアルファベットC～Uのストップねじ用穴にストップねじを入れて変更して下さい。

その他注意事項

- この資料は30° 切換用DP形コードスイッチの動作範囲変更用とします。
- Aのストップは初期状態から入っており、スイッチ内部組込の為、取り外しは出来ません。
- ストップねじの取付は十字ドライバ先No.00を用いて0.15～0.22Nmのトルクにて作業願います。
- ストップねじ用穴は、製造上の都合上、金属の膜が張っている事がありますが性能上問題ありません。ストップねじを押しあてれば簡単に破れますのでそのまま御使用下さい。
- ストップねじ用位置のF, G, J, K, V, Wについては、記号の記載が有りませんが、時計方向にアルファベット順に配置しております。
- シャフトを回転させる場合は、ツマミ (別売) 等を取り付けて回転させて下さい。
- 製品に印字されている形式は出荷時の設定動作範囲に合わせた表記となっています。

コード表

リアルバイナリコード (No.01) 切換角度30°

端子記号	ビット No	設定値											
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	1		●		●		●		●		●		●
F	2			●	●			●	●			●	●
B	4				●	●	●	●					●
E	8								●	●	●	●	●
C	P	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
G	INH	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
D	COM												

← 納入時動作範囲 →

コンプリメンタリバイナリコード (No.02) 切換角度30°

端子記号	ビット No	設定値											
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	1	●		●		●		●		●		●	
F	2	●	●			●	●			●	●		
B	4	●	●	●	●					●	●	●	●
E	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
C	P	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
G	INH	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
D	COM												

← 納入時動作範囲 →

INH : インヒビット端子
 P : パリティ端子
 COM : コモン端子
 ● : ON動作

				形式番号					品名	30° 切換用接点変更手順					
				顧客名					作図日	2015. 7. 15	尺度	1 : 2		製品図面番号	頁記号
				顧客図番					承認		検		設	開発	
				製品管理番号					計		土井			D P 接点変更手順書	1 / 1
記号	年月日	改訂事項	担当					変更記号履歴	○○○○○○○○○○				書式No. ; T2001		